

営業の概況

2010年12月31日に終了した事業年度

業績
トップメッセージ

特集

事業の概況

CSR

企業情報

財務セクション

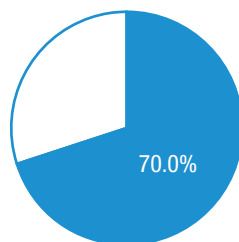
二輪車事業



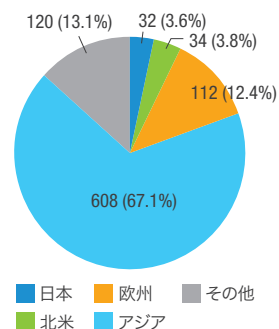
主要製品
二輪車、海外生産用部品

XT1200Z Super Ténéré

売上高比率



市場別売上高 (十億円)



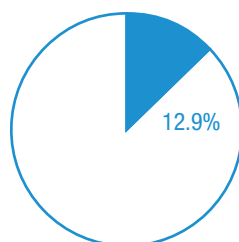
マリン事業



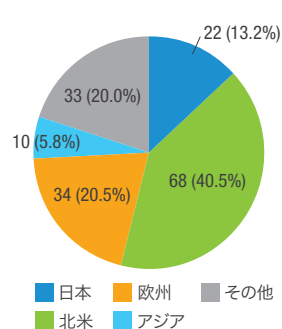
主要製品
船外機、ウォータービークル(水上オートバイ)、レジャーボート、FRP(ガラス繊維強化プラスチック)プール、漁船、和船、ディーゼルエンジン

VX Cruiser

売上高比率



市場別売上高 (十億円)



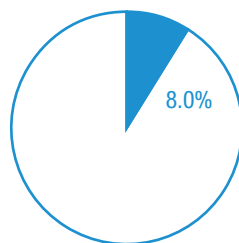
特機事業



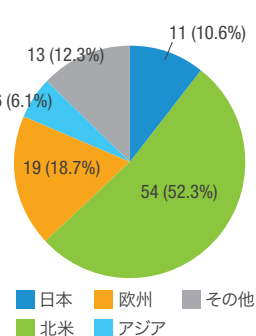
主要製品
ATV(四輪バギー)、SSV(サイド・バイ・サイド・ビークル)、スノーモバイル、ゴルフカー、発電機、除雪機、汎用エンジン

Grizzly 350

売上高比率



市場別売上高 (十億円)



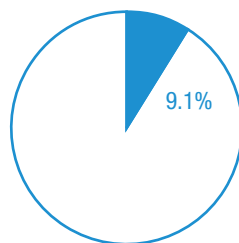
その他の事業



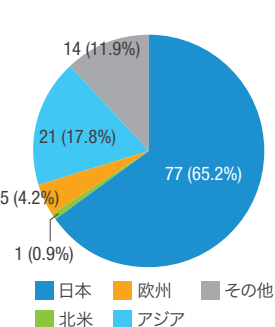
主要製品
サーフェスマウンター(表面実装機)、産業用ロボット、自動車エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプター、電動車椅子、中間部品

PAS Raffini

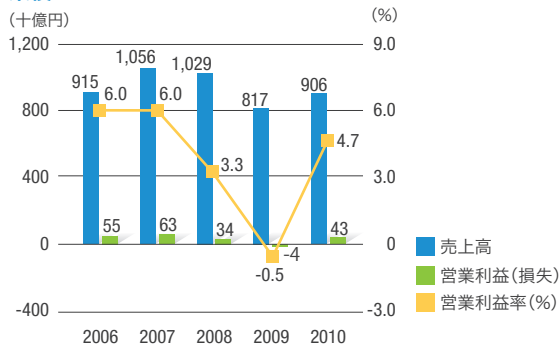
売上高比率



市場別売上高 (十億円)



業績



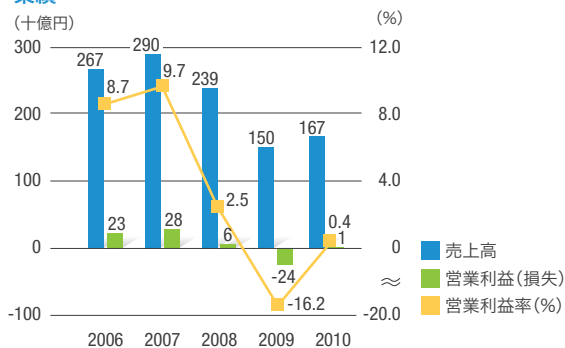
営業の概況

2010年12月期(以下「2010年度」、日米欧の先進国市場では、需要が想定を下回ったことによる販売数量減少に加え、為替円高により売上高が前年度比減少しました。アセアンでは、きめ細かなエリア・マーケティングや積極的な新商品の導入による商品力強化などにより販売台数が増加、売上高が前年度比増加しました。また、ブラジルを中心とした中南米でも雇用拡大・個人消費の増加により売上高が回復しました。

これらの結果、2010年度の売上高は前年度比889億円(10.9%)増の9,060億円となり、営業利益は前年度比469億円改善の427億円となりました。

事業の概況
30～35ページ

業績



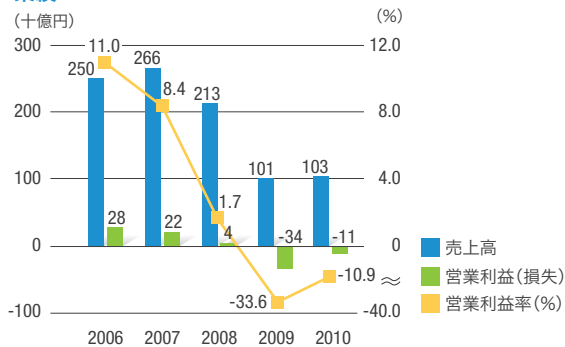
営業の概況

船外機事業は、次世代4ストローク大型船外機の新商品を投入したことから、米国などの先進国で販売が回復、ブラジル、ロシア、アジアなどの新興国市場でも好調に推移し業績回復に貢献しました。

これらの結果、2010年度の売上高は前年度比170億円(11.3%)増の1,671億円となり、営業利益は前年度比250億円改善の7億円となりました。

事業の概況
36～37ページ

業績



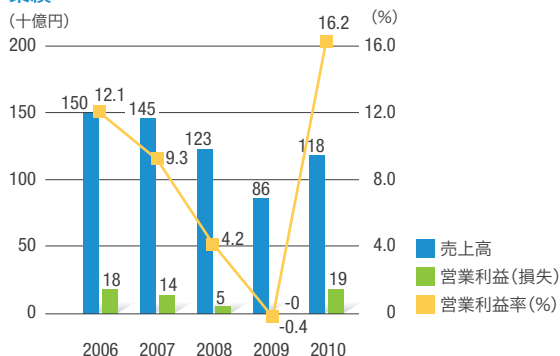
営業の概況

米国でのATV(四輪バギー)の小売販売は前年度を下回りましたが、前年度に在庫調整を実施したこともあり、卸出荷は前年度比増加しました。

これらの結果、2010年度の売上高は前年度比24億円(2.4%)増の1,030億円となり、営業損失は前年度比225億円改善の113億円となりました。

事業の概況
38～39ページ

業績



営業の概況

IM(インテリジェント・マシナリー)事業は需要が回復し販売が倍増したほか、PAS事業も好調に販売を拡大しました。

これらの結果、2010年度の売上高は前年度比322億円(37.4%)増の1,180億円となり、営業利益は前年度比195億円改善の191億円となりました。

事業の概況
40～41ページ